



当社は、HS財団の動物実験第三者認証施設です

第102号
 2016年(平成28年)3月1日(業務企画部発行)
株式会社日本バイオリサーチセンター
 Nihon Bioresearch Inc.
 〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地
 TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432
 URL: http://www.nbr.co.jp/

チアミン欠乏モデルマウス

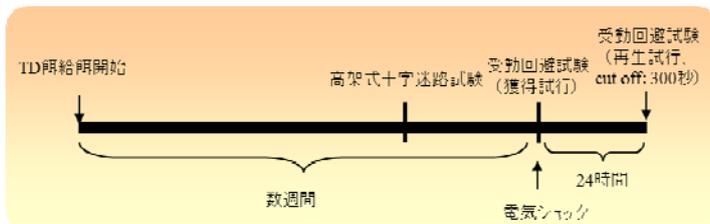
認知症は、記憶・学習障害などの中核症状の他に、幻覚、妄想、興奮、攻撃性、焦燥、不安、抑鬱、不眠、徘徊などの**周辺症状**が認められている。この中核症状及び**周辺症状**を示す動物としてチアミン欠乏モデルマウスが知られています。チアミン欠乏(TD)食でマウスを飼育すると、**経日的に**情動異常や学習障害が発現し、認知症患者に認められるような学習障害だけではなく、**周辺症状(不安様やうつ様症状)**が生じます。当社では、TDマウスを用いて高架式十字迷路及び受動回避で不安様行動及び記憶・学習障害を評価する試験系を紹介します。

一 試験概要

1. 試験動物

動物種: マウス、 性別: 雄

2. 試験スケジュール



3. 評価項目

- ・高架式十字迷路試験
- ・強制水泳試験
- ・受動回避試験
- ・モノアミン含量

4. 特徴など

- ・中核症状の他に周辺症状も出るモデル動物です。
- ・ヒトでは、ウェルニッケ・コルサコフ症候群と呼ばれています。

佐部利 典彦のアートギャラリー(100)

岐阜県出身(1969~)

作者の言葉

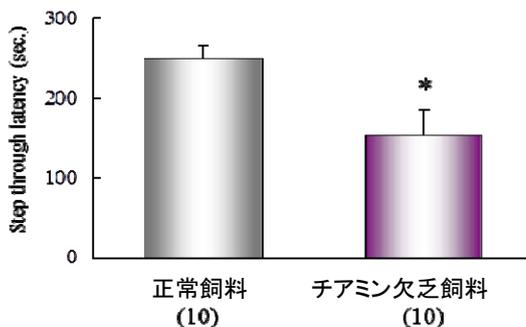
この絵は前にも描いていたアトリエから見える大きな樹とその周りの風景がもとになっています。私はその中に人のかたちや植物のかたちや、眼に見えているのだけど、普段は意識していないかたちを見出して描いています。

タイトル: 空間にみるかた



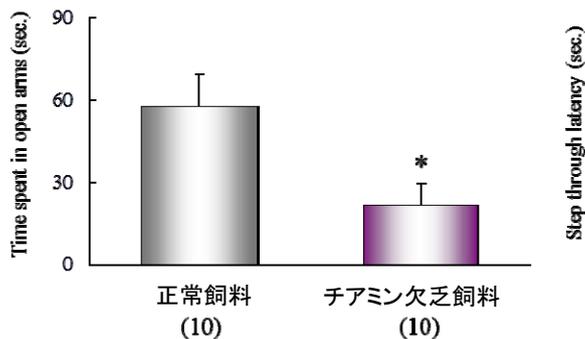
F30号 綿布に油彩

受動回避試験



Figures in parentheses indicate number of animals.

高架式十字迷路試験



*p<0.05 compared with the PF Control.

お知らせ

今年も下記学会にて当社のブース展示を行いますので、是非お立ち寄りください♪

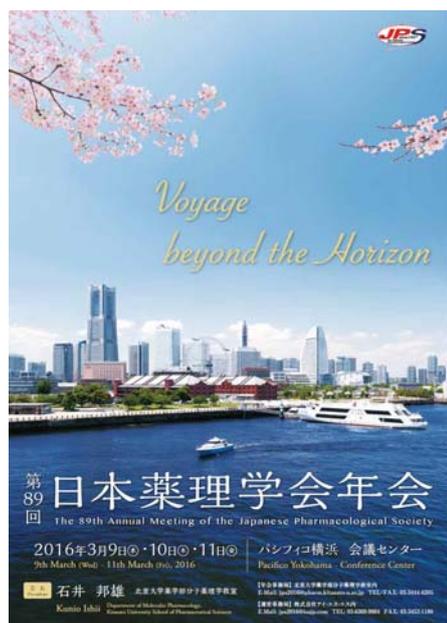
★ 第89回 日本薬理学会年会

2016年3月9~11日 パシフィコ横浜にて
 (発表演題は、裏面をご覧ください)

★ 第15回 日本再生医療学会総会

2016年3月17~19日 大阪国際会議場にて

第89回 日本薬理学会年会 発表演題



会 場：パシフィコ横浜
日 程：3月9日(水)～3月11日(金)
ポスターセッション(301～304会場)



発表日時：3月 9日(水) 13:40～14:40

演 題：**Slukaモデルラットの不安様症状と脳内神経伝達物質の変化**

演 者：村澤寛泰 発表番号：**1-P-35**

発表日時：3月10日(木) 17:10～18:10

演 題：**高脂肪負荷SHRラットを用いた筋肉減量モデルの運動負荷の効果**

演 者：川崎由紀子 発表番号：**2-P-89**

発表日時：3月10日(木) 17:10～18:10

演 題：**造影剤誘発腎障害ウサギに対するagmatineの効果**

演 者：杉浦孝宏 発表番号：**2-P-61**

発表日時：3月11日(金) 15:10～16:10

演 題：**実験的自己免疫脳髄炎におけるベタメタゾンの治療的效果**

演 者：大芝泰弘 発表番号：**3-P-125**

～ テクニカルプレゼンテーションのご案内 ～

会 場：パシフィコ横浜 会議センター 3階 316

発表日時：3月10日(木) 11:55～12:10 **2-TP-02**

17:55～18:10 **2-TP-04**

内 容：**日本バイオリサーチセンターの新規薬理試験のご紹介**

(Information of new pharmacological tests in Nihon Bioresearch Inc.)

演 者：**狩野真由美 (Mayumi Kano)**



会場にお越しの際は、是非発表及びブースにお立ち寄りください♪